

# 西大和学園中学突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

対策の特徴

## ◎ 年間スケジュール

	2月～7月	8月～1月	2月～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事	期末テスト 三者面談					
トライ対策スケジュール	5年		6年			
	算:受験に必要な単元の学習を完了 国:文法読解方法を一通り習得、必要な文法・語句の知識を一通り習得 社:地理の学習を全て完了、歴史の学習に着手 理:ヒトの体、回路、天体、水溶液	算すべての基礎学習を終え、問題演習をする中で起訴事項の確認。 国、社、理:全ての基礎学習を終え、問題演習をする中で基礎事項を確認。	算:4科のまとめにて基本の解法を自在に操れるようにする。名古屋中など傾向が似ている学校の過去問演習を始め、応用問題でどの基礎事項を使うか瞬時に判断する。 国、社、理:東大寺中など傾向が比較的似ている学校の過去問を始める。解答作成テクニック	算:西大和中学過去問10年分を単元別に解きすすめる。苦手分野が発見された場合は基礎に立ち戻る。 国:4科のまとめ2週目。基礎事項に漏れが無いかわ確認する。西大和中学の過去問10年分は月1回のペースで解く。 社、理:4科のまとめ2週目。基礎事項に漏れが無いかわ確認する。西大和中学の過去問10	算:西大和中学過去問2週目。解答作成テクニックを洗練させる。近年の他県の上位校の過去問を解く事で最新の受験傾向に慣れる。 国:ほぼ仕上がっている状態。週1回のペースで近年の他県の上位校の過去問を解き、最新の受験傾向に慣れる。 月1回のペースで東海中の過去問を解く。社、理:西大和中学過去問2週目。単元別に弱点を発見し、そこは基礎に戻って補強する。解答作成テクニックを洗練させる。	算、国、社、理:西大和中学過去問3週目。時間を計って本番と同じ形式で解く。本番に備え、心身のコンディションを整える。
ポイント	小学校の授業内容を最低でも小学5年中期までに完成させる！ その後本格的な受験勉強に入ることをお勧めします。					

## ◎ こういう生徒にお勧め!

現在トライを利用中の方に最適なプランです。  
 ・中学年「塾でわからないところが増えてきた」「中学受験の準備がまだできていない」  
 ・高学年「何としても西大和に入りたいという希望がある方」「単元対策を希望」

## ◎ 対象エリア

対象学年: 小学4年～6年生  
 対応地域: 奈良県全域  
 指導期間: お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

特徴1  
西大和の傾向に基づき、対策を打ちます。  
 特徴2  
現在通っている塾にあわせて対策が打てます。  
 特徴3  
科目を限定して対策を打つことができます。  
 対応教師  
 セレクトA 指導実績5年以上  
 フロスタンダード 指導実績8年以上  
 プロアドバンス 指導実績10年以上

## ◎ Data Mining

入試データ&ポイント	受験合格に際しては生徒の偏差値を上げるというのではなく、西大和の最低合格ライン+ $\alpha$ を獲得する対策を採る。最低合格ラインは320/500点、最低合格ラインは64%、安全合格ラインは70%、目標ラインは75%として対策を採る。社会が苦手な子は3科目受験(算・国各200点、理科100点)の受験も可能。後期試験は3科目受験になる。
算数	試験時間60分、目標点数105/150点。一つ一つの問題に対しての即答能力が必要となる。時間配分に気をつけてすすめていく必要がある。新傾向推理問題が近年出題されていないので注意が必要。出題分野:計算問題(小数分数、虫食い算)、1文問題(整数の性質、旅人算、相当算、平均算、通過算、差集め算、時計算、消去算、流水算、つるかめ算)応用文章題(旅人算、整数の性質、推理問題、規則性、場合の数)、図形問題(面積、拡大縮小、長さ、立体面積比、水槽問題)《計算問題2、一文問題4、応用文章題4》
国語	試験時間60分、目標点数100/150点。例年、評論文・説明文、物語文、随筆から3題出題される。論説文は高度な内容が含まれることが多いので難文に慣れておく必要がある。一日1文の学習を行なうことが必要。出題分野:物語文2、論説文1～2、随筆0～1、漢字4～5
理科	試験時間40分、目標点数69/100点。各分野とも奇問難問は少なく、良問が多いことが特徴である。しっかりと基礎学力をつけてから標準問題を多く解くことが必要となる。知識をそのまま出題されることは少ないが、基礎知識を応用したり、資料を元に考えたり、仮説を立てたりすることを要求する問題が多い。日ごろからそのような特訓を行なっておくこと。出題分野:物理分野1、化学分野1、生物分野1、地学分野1
社会	試験時間40分、目標点数69/100点。半分を占める歴史と1/3を占める地理分野を中心に学習することを勧める。地理では県別人口・農業物出荷数・工業出荷数なども覚えておきたい。出題分野:地理1～2、歴史1～2、公民1